

平成26年8月5日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマックス
代表者名 代表取締役社長 茂森 拓
(J A S D A Q ・ 5 2 8 5)
問合せ先 取締役管理本部長 長岡 純生
電 話 0 9 6 - 3 8 1 - 6 4 1 1

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、平成26年8月5日開催の当社取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当該取締役会における第三者割当による自己株式の処分の採決にあたっては、割り当てを受ける取締役（代表取締役社長 茂森拓）は特別の利害関係を有するため決議には参加しておりません。

記

1. 処分の概要

(1) 処分期日	平成26年8月22日
(2) 処分株式数	338,000株
(3) 処分価額	1株につき295円
(4) 資金調達額	99,710,000円
(5) 募集又は処分方法	第三者割当による処分
(6) 処分先	茂森 拓
(7) その他	該当事項はありません

2. 処分の目的及び理由

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、現在、発行済株式数11,580,000株の27.56%にあたる3,192,578株を自己株式として保有しております。

今般、今後の事業展開を鑑み、自己株式の活用についての検討を重ねる中、本日開催の取締役会において当社の代表取締役社長である茂森拓を割当先とした第三者割当による自己株式処分を行うことを決定いたしました。

この処分は当社の保有する自己株式を有効活用し、当該自己株式処分の割当先を当社の代表取締役社長である茂森拓とすることにより、経営執行責任の明確化と業績向上への貢献意欲を図ることを主たる目的とするものであります。

また、株主との利害関係の共有化を図ることで、株主価値の最大化と企業価値の向上につながるものと判断しております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引予定金額）

①払込金額の総額	99,710,000円
②発行諸費用の概算額	200,000円
③差引手取概算額	99,510,000円

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
全額を土木・建築用セメント製品事業の運営に係る原材料・労務費の支払（運転資金）に充当する予定であります。	99百万円	平成26年8月

4. 資金使途の合理性に関する考え方

今回の自己株式処分により調達した資金使途につきましては、運転資金に全額充当することを予定しております。また、運転資金への充当は、当社の業務運営に資することでありますので、当該資金の使途には合理性があるものと考えております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額は、本件第三者割当による自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日（平成26年8月4日）の直前6ヶ月間（平成26年2月5日から平成26年8月4日まで）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値の平均値である295円（円未満切捨て）といたしました。当社普通株式の終値の平均値を採用することにいたしましたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された価額を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的なものとして判断したためであります。

また、終値の平均値を算出する際に直前営業日の直前1ヶ月平均や直前3ヶ月平均ではなく、直前6ヶ月平均を採用したのも一定期間の平均株価を算出する際に期間が長い方がより平準化された価額になると判断したことによります。

なお、当該処分価額につきましては、取締役会決議日の直前取引日（平成26年8月4日）の当社普通株式の終値296円に対し0.34%のディスカウント、同直前営業日までの1ヶ月間（平成26年7月5日から平成26年8月4日まで）の終値の平均値299円（円未満切捨て）に対しては1.34%のディスカウント、同直前営業日までの3ヶ月間（平成26年5月5日から平成26年8月4日まで）の終値の平均値290円（円未満切捨て）に対しては1.72%のプレミアムとなります。

当該処分価額は、前記のとおり合理的と考えられる算定根拠により決定した価額であり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、特に有利な処分価額には該当しないものと判断しております。

また、取締役会に出席した監査役3名（うち社外監査役2名）全員からも、当該処分価額は合理的と考えられる算定根拠により決定され、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠していることから、特に有利な処分価額には該当せず適法である旨の意見をいただいております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

本件第三者割当による自己株式処分数338,000株（議決権338個）の発行済株式数（11,580,000株、平成26年3月31日現在）に占める割合は2.91%（自己株式処分前の総議決権8,382個に占める割合は4.03%）となり、また、本件第三者割当による自己株式処分により割り当てる予定の当社普通株式並びに最近6ヶ月間に実施した平成26年3月24日払込完了の第三者割当による自己株式処分により割り当てた当社普通株式の合計数は538,000株（議決権数538個）となり、当該第三者割当による自己株式処分を決議した取締役会日時点の当社発行済株式総数11,580,000株（総議決権8,182個）に対し4.64%（総議決権に対し6.57%）と一定の希薄化が生じるものと認識しております。

しかしながら、自己株式処分の割当先を当社の代表取締役社長である茂森拓とすることにより、今後の業績向上への貢献意欲が図れることから業績向上が見込めるとともに当社企業価値の向上につながるものと考えております。

このような観点から、処分数量及び株式の希薄化の規模は妥当であると判断いたしました。

6. 処分先の選定理由等

(1) 処分先の概要

(1)氏名	茂森 拓
(2)住所	熊本県熊本市中央区
(3)職業の内容	当社代表取締役社長
(4)上場会社と当該個人の関係	
資 本 関 係	割当先茂森拓が保有している当社の株式数： 73,000株（平成26年3月31日現在）
人 的 関 係	当社代表取締役
取 引 関 係	該当事項はありません。

(注) 割当予定先である茂森拓は当社の代表取締役社長であり、反社会的勢力との関係を一切有していないことを本人との面談により直接確認しており、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

(2) 処分先の選定理由等

自己株式処分の割当先を当社の代表取締役社長である茂森拓とすることにより、今後の業績向上への貢献意欲が図れることから業績向上が見込めるとともに企業価値の向上につながるものとの判断のもと、当社の代表取締役社長である茂森拓を割当予定先としました。

(3) 処分先の保有方針

割当予定先である茂森拓からは、長期的に継続して当社株式を保有する旨の意向を確認しております。

また、当社と割当予定先である茂森拓との間で、本件第三者割当の期日から2年間において、割当予定先である茂森拓が本件第三者割当により取得した当社株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由、譲渡方法等を当社に書面にて報告し、当社が当該報告に基づく報告を株式会社東京証券取引所に行い、当該報告の内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を締結する予定であります。

(4) 処分先の払込に要する財産の存在について確認した事項

割当予定先である茂森拓からは、平成26年8月5日時点で払込に必要な十分な資金を有していることを金融機関等預金通帳等の提示を受けることにより確認しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（平成26年3月31日現在）		処 分 後	
株式会社ヤマックス（自己株式）	27.56%	株式会社ヤマックス（自己株式）	24.65%
茂森 潔	8.13%	茂森 潔	8.13%
日本証券金融株式会社	3.10%	茂森 拓	3.54%
ヤマックス従業員持株会	3.10%	日本証券金融株式会社	3.10%
株式会社みずほ銀行	2.07%	ヤマックス従業員持株会	3.10%
株式会社南日本銀行	2.07%	株式会社みずほ銀行	2.07%
株式会社麻生	2.02%	株式会社南日本銀行	2.07%
株式会社ナルックス	1.72%	株式会社麻生	2.02%
江田 幸雄	1.72%	株式会社ナルックス	1.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1.57%	江田 幸雄	1.72%

（注）処分後の大株主及び持株比率については、平成26年3月31日現在の株主名簿を基準として記載しております。

8. 支配株主との取引等に関する事項

本取引は、支配株主との取引等に該当しません。

9. 今後の見通し

当期業績予想への影響はありません。

10. 企業行動規範上の手続き

本件第三者割当は、希釈化率25%未満であること、支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	平成24年3期	平成25年3期	平成26年3期
連結売上高	11,500百万円	12,682百万円	14,360百万円
連結営業利益	△257百万円	△163百万円	428百万円
連結経常利益	△312百万円	△372百万円	313百万円
連結当期純利益	60百万円	△457百万円	217百万円
1株当たり連結当期純利益	7.35円	△55.83円	26.55円
1株当たり配当金	5.0円	－円	5.0円
1株当たり連結純資産	322.17円	263.99円	278.50円

（注）△は損失を示しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成26年8月5日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	11,580,000株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	—	—
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
始 値	116円	107円	142円
高 値	129円	190円	382円
安 値	81円	83円	122円
終 値	109円	144円	341円

② 最近6ヶ月間の状況

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
始 値	231円	248円	340円	360円	262円	283円
高 値	262円	382円	352円	425円	300円	321円
安 値	200円	235円	292円	238円	260円	269円
終 値	250円	341円	348円	262円	281円	297円

③ 発行決議日前営業日における株価

	平成26年8月4日
始 値	302円
高 値	303円
安 値	292円
終 値	296円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

第三者割当（自己株式処分）

払込期日	平成26年3月24日
調達資金の額	54,800,000円
処分価額	1株につき274円
処分時における発行済株式数	11,580,000株
当該処分による処分株式数	200,000株
処分後における発行済株式総数	11,580,000株
割当先	株式会社ナルックス
発行時における当初の資金使途	運転資金
発行時における支出予定時期	平成26年4月以降
現時点における充当状況	全額を土木・建築用セメント製品事業の運営に係る原材料・労務費の支払（運転資金）に充当しております。

12. 処分要領

(1) 処分株式数	338,000株
(2) 処分価額	1株につき295円
(3) 処分価額の総額	99,710,000円
(4) 処分方法	第三者割当による処分
(5) 処分先	茂森 拓
(6) 処分期日	平成26年8月22日
(7) 処分後の自己株式数	2,854,578株

以上